

施 工 管 理 資 料

施工管理資料一覧表

管理項目	管理資料名	備考	参考 様式
1. 工事写真	1. 工事着手前及び完成写真 (既成部分写真を含む) 2. 施工状況写真 (1) 工事施工中写真 (2) 図面と現地の不一致写真 3. 安全管理写真 4. 使用材料写真 5. 品質管理写真 6. 出来形管理写真 7. 災害写真 8. その他(公害、環境、補償等)	写真管理基準(案)に基づき撮影のこと	
2. 工程管理	1. 工程表(バーチャート又はネットワーク) 2. 工程管理図	当初請負額50万円以上の工事(年間維持 工事を除く) 監督員の指示による	1 2 3
3. 出来形管理	1. 測定結果総括表 2. 測定結果一覧表 3. 出来形管理図表 4. 出来形管理図(工程能力図) 5. 度数表 6. 出来形展開図 7. 出来形数量計算書 8. その他	測定箇所が10点以上のもの 測定箇所が10点以上のもの " " " "	4 5 6 7 8 9
4. 品質管理	1. 使用材料ミルシート 2. レディーミクストコンクリート 配合報告書 3. 測定結果総括表 4. 測定結果一覧表 5. 品質管理図表 6. 品質管理図(工程能力図) 7. 度数表 8. X-R管理図データシート 9. X-R管理図 10. X-Rs-Rm管理図データシート 11. X-Rs-Rm管理図 12. その他 (イ) 塗膜厚測定管理表 (ロ) 塗膜厚測定成績表 (ハ) アスファルト混合物の 敷均し時の温度測定 (ニ) コンクリート中の塩分測定表 (ホ) 品質証明書	共通仕様書 第1編1-3-3-1 第2項 JIS A 5308 による 測定(試験)値が10点以上のもの 測定(試験)値が10点以上のもの " " " " 品質管理図表による場合 " " " "	4 5 6 7 8 10 11 12 13 14 15 16 17 18
備考 1. 施工管理資料提出の際は上記資料のうち該当部分のみを抽出し本表の記載順序 (その他は除く)にしたがい取りまとめるものとする。			

管理項目	管理資料名	備考	参考 様式
5. その他 (参考様式)	1. 施工体制台帳及び下請負人に関する事項	共通仕様書 第1編 1-1-1-10	19
	2. 施工体系図	共通仕様書 第1編 1-1-1-10	20
	3. 現場発生品調書	共通仕様書 第1編 1-1-1-17	21
	4. 再生資源利用(促進)(計画・実施)書	共通仕様書 第1編 1-1-1-18	22
	5. 確認・立会願	共通仕様書 第3編 3-1-1-5	23
	6. 段階確認書	共通仕様書 第3編 3-1-1-5	24
	7. 工事履行報告書	共通仕様書 第1編 1-1-1-24	25
	8. 安全訓練に関する(計画・実施)書	共通仕様書 第1編 1-1-1-26	26
	9. 工事事故報告書	共通仕様書 第1編 1-1-1-29	27
	10. 交通整理員勤務実績表	共通仕様書 第1編 1-1-1-33	28
	11. 木材利用(計画・実績)書	共通仕様書 第1編 1-1-1-43	29
	12. 材料確認願	共通仕様書 第2編 第1章 第2節	30
	13. 現場安全日誌(急傾斜工事)	共通仕様書 第6編 6-3-11-3	31
	14. 工事打合せ簿	監督員の指示又は承諾は平成19年4月1日改正の 「工事請負契約書の運用」の様式第5を使用する。	32
	15. 産業廃棄物処理計画書(実施書)	共通仕様書 第1編 1-1-1-18	33
	16. 適正な施工体制の確保	共通仕様書 第1編 1-1-1-45	34
	17. 木製工事用バリケード等	共通仕様書 第1編 1-1-1-46	35
	18. 創意工夫	共通仕様書 第3編 3-1-1-14	36

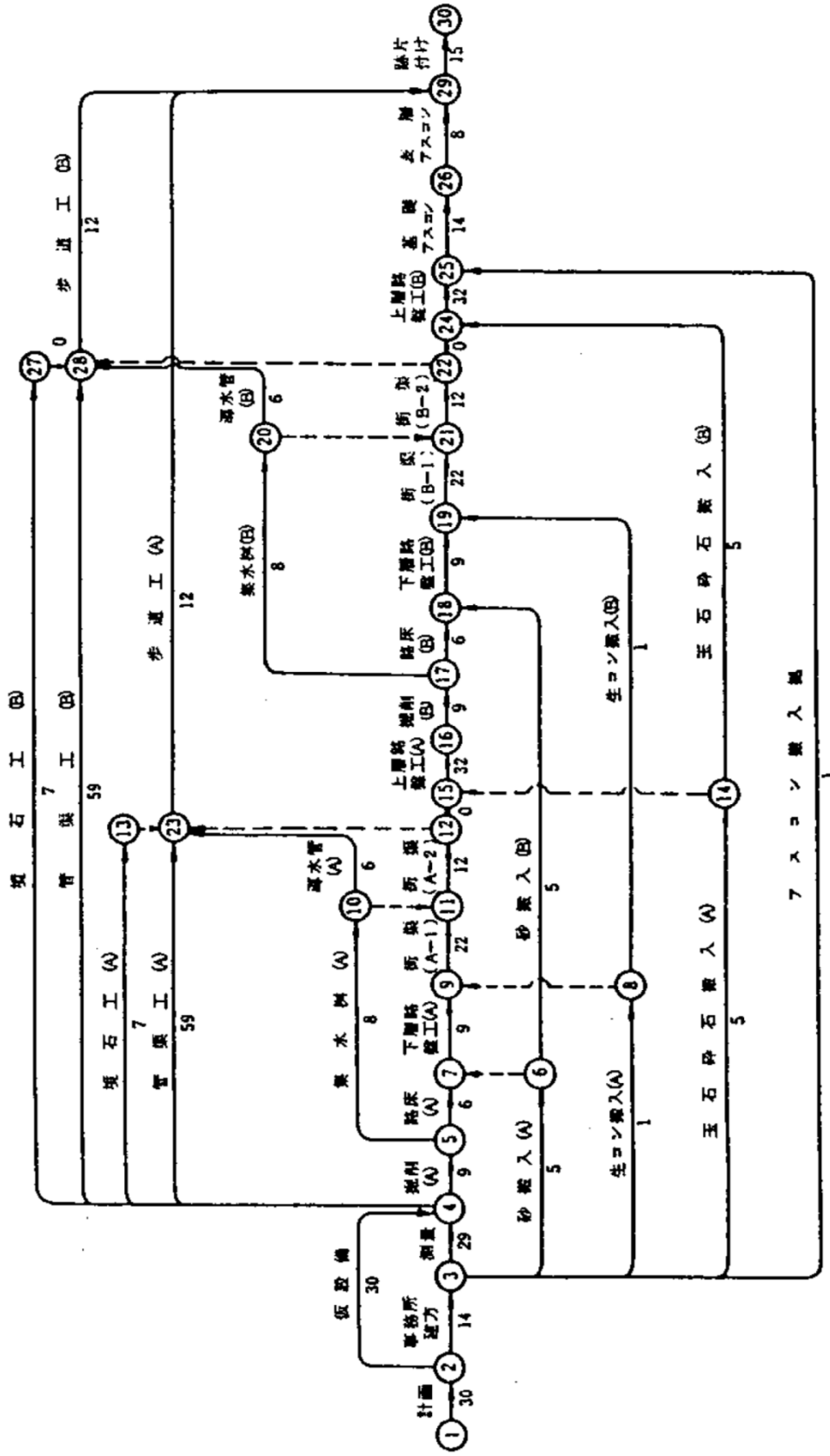
パ一チヤ一ト工程表(例)

工事番号
 自 年 月 日 至 年 月 日
 受注者又は
 現場代理人

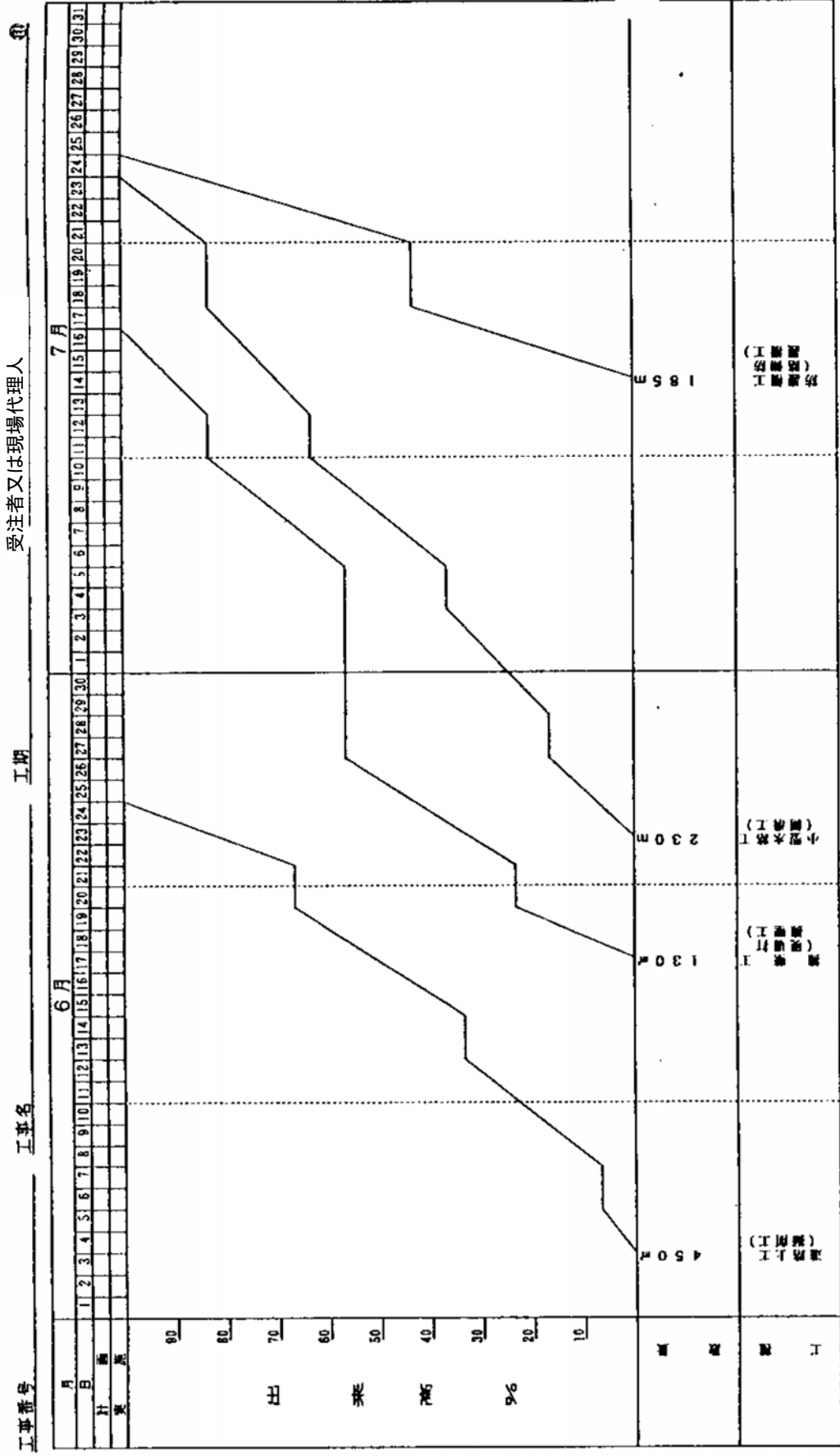
工 種	工 種 別	細 別	単 位	数 量	構成比	工 期				備 考
						5 月	6 月	7 月	8 月	
準備工			式	1	0.015					
道路土工		掘削工	m ³	2,810	0.225					
		作業敷土工	"	2,350	0.238					
		現場打機盤工	"	420	0.296					
小型水路工		側溝工	m	260	0.133					
防護欄工		貼割防護欄工	"	220	0.083					
後片づけ			式	1	0.010					
80 70 60 50 40 30 20 10 総 合 工 程 %										
(赤) 実施工程 (上段) (黒) 計画工程 (下段) (赤) 実施工程 (黒) 計画工程										

ネットワーク工程表(例)

受注者又は現場代理人



工程管理図 (例)



測定結果総括表

工種 _____ 現場代理人又は主任技術者 _____ 印

種別 _____ 測定者 _____ 印

測定項目	規格値		差		設計値		実測値		差		設計値		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
平均値																
最大値																
最小値																
最多値																
データ数																
標準偏差																

測定項目	規格値		差		設計値		実測値		差		設計値		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
平均値																
最大値																
最小値																
最多値																
データ数																
標準偏差																

測定項目	規格値		差		設計値		実測値		差		設計値		実測値		差	
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
平均値																
最大値																
最小値																
最多値																
データ数																
標準偏差																

測定結果一覧表

工事名 _____
 工種 _____ 現場代理人又は主任技術者 _____ 印
 種別 _____ 測定者 _____ 印

測定項目 規格値										略 図
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
測点又は区別										
測定項目 規格値										
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	

出 来 形 管 理 図 表

工 種 _____ 現場代理人又は主任技術者 _____ 印

種 別 _____ 測定者 _____ 印

測 点	設計値との差			測定項目			規格値		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
0									
測定項目									
規格値									
測点又は区別									
平均値									
最大値									
最小値									
最多値									
データ数									
標準偏差									

出来形管理図 (工程能力図)

工 種 _____ 現場代理人又は主任技術者 _____ 印

種 別 _____ 測定者 _____ 印

測定項目 規格値	測 点	1		2		
		設計値との差	0			
基準高 H						
法 L						
延長 L						

度数表

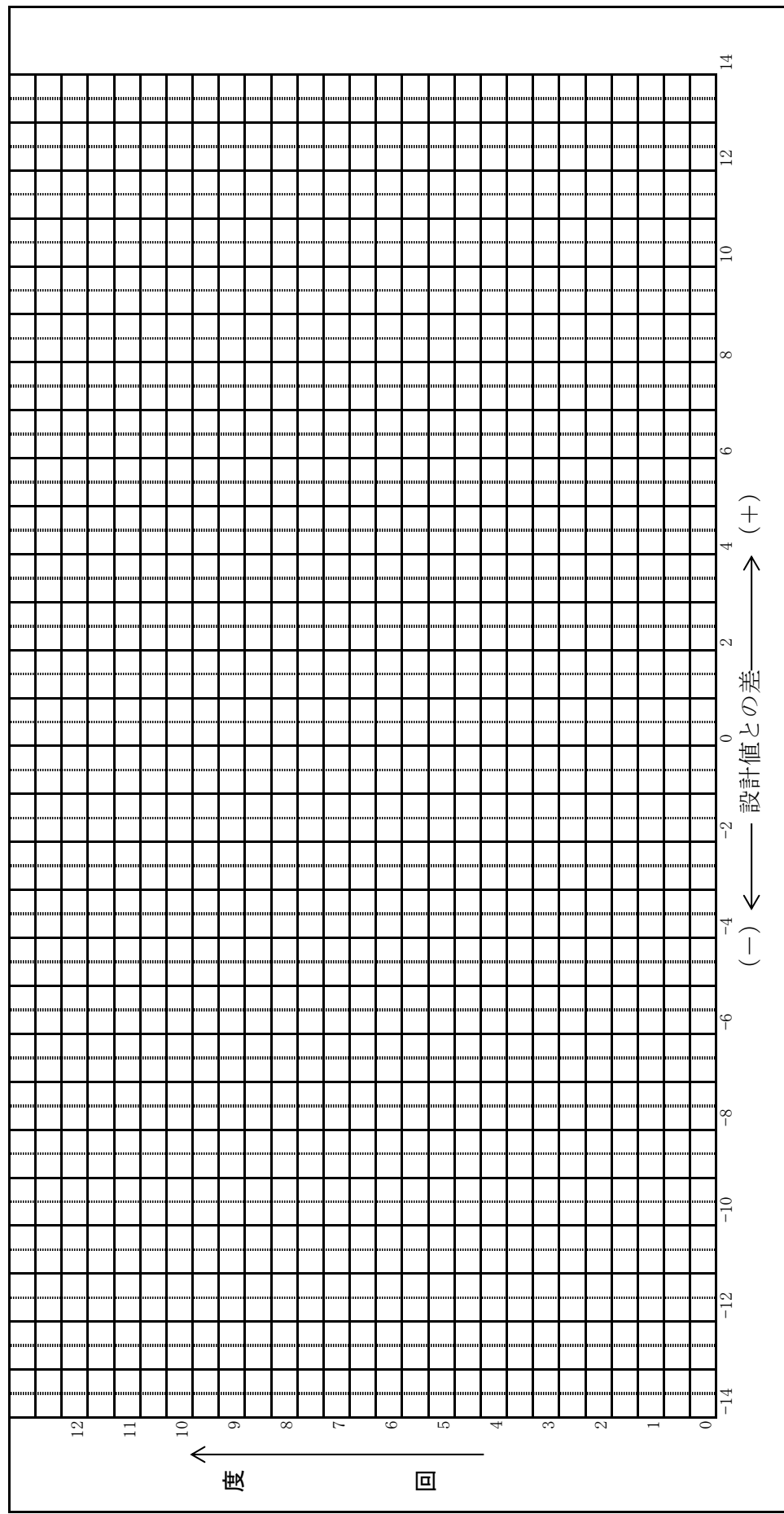
現場代理人又は主任技術者

印

測定者

印

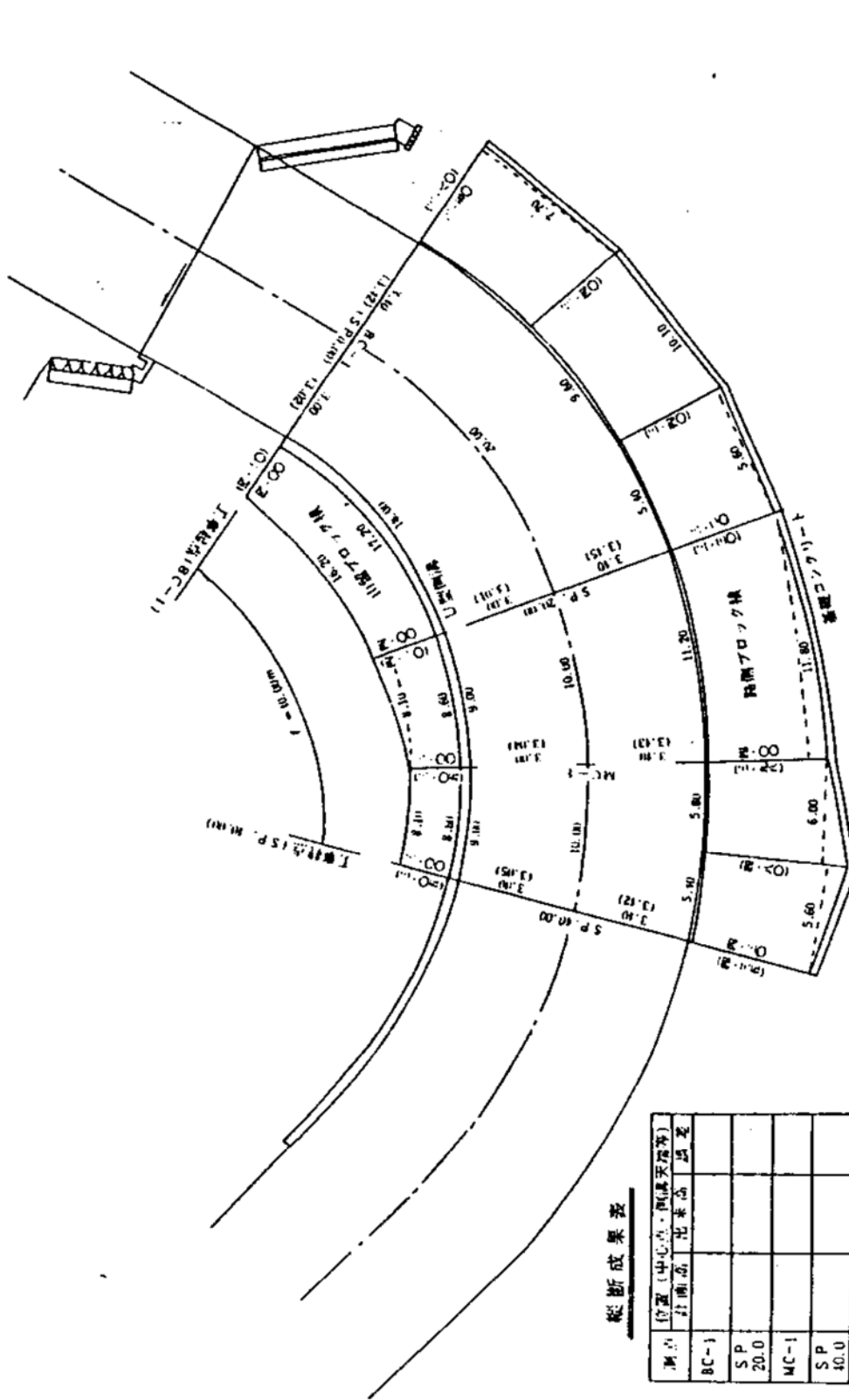
基準高 H



出 来 形 展 開 図 (例)

受注者又は
現場代理人

参考様式-9



\bar{x} - R 管理データシート

名称		工事名				期間		自至		
品質・特性		発注者・監督員				請負者又は現場代理人		印		
測定単位		日標準量				測定者		印		
規格限界	上限値	試料				大きさ		間隔		
	下限値	作業機械名								
設計基準値										
月日	試験番号	測定値				計	平均値	範囲		
		X1	X2	X3	X4	Σ	X	R		
	1									
	2									
	3							\bar{x}	R	
	4							平均		
	5							累計		
	小計							小計		
	6							\bar{x}	R	
	7							平均		
	8							累計		
	小計							小計		
	9									
	10									
	11							\bar{x}	R	
	12							平均		
	13							累計		
	小計							小計		
	14									
	15									
	16									
	17									
	18							\bar{x}	R	
	19							平均		
	20							累計		
	小計							小計		
記事							n	d2	A2	D4
							2	1.128	1.880	3.267
							3	1.693	1.023	2.575
							4	2.059	0.729	2.382
							5	2.326	0.577	2.115

- (注) 1. 品質特性、測定単位は共通仕様書の品質管理図適用表により記入する。
 2. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
 3. 管理限界線の引直しは5+5+10+20+20方式による。

(備考) ————— 管理限界計算のためのデータの区間を示す。
 - - - - - 上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 21組~40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとに同様とする。

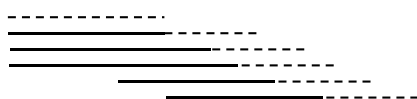
Ⅹ - R 管理図

設計基準値 名稱 特性 位置 測定方法 作業機械名	工日 規格限界 試料	工事標準 上値 下値 大間		発注者・監督員 自至 者又 場理 定人 者
		名量 値値 さ隔		
		期請現測		
		印印		
X	Rs	Rm		
組の番号 事記				

X-Rs-Rm管理データシート

名称		工事名				期間	自				
品質・特性		発注者・監督員					至				
測定単位		日標準量				請負者又は現場代理人					
規格 限界	上限値	試料				大きさ 間隔	測定者		印		
	下限値								印		
設計基準値		作業機械名									
月日	試験 番号	測定値				計	平均値	移動範囲	測定値内 の範囲		
		a	b	c	d	Σ	X	Rs	Rm		
	1										
	2										
	3							X	Rs	Rm	
	4							平均			
	5							累計			
	小計							小計			
	6							X	Rs	Rm	
	7							平均			
	8							累計			
	小計							小計			
	9										
	10										
	11							X	Rs	Rm	
	12							平均			
	13							累計			
	小計							小計			
	14										
	15										
	16										
	17										
	18							X	Rs	Rm	
	19							平均			
	20							累計			
	小計							小計			
記事								n	d1	D4	E2
								2	1.13	3.27	2.66
								3	1.69	2.57	1.77
								4	2.06	2.28	1.46
								5	2.33	2.11	1.29

- (注) 1. 品質特性、測定単位は共通仕様書の品質管理図適用表により記入する。
 2. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
 3. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。



(備考) —— 管理限界計算のための予備データの区間を示す。
 ----- 上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 以下最近の20個(平均値Xを1個とする)のデータを用い次の10個に対する管理限界とする。

X—Rs—Rm管理図

設計基準値	工日	標準	名量	発注者・監督員		
				期間	自至	
名称	規格	限界	上限	下限	請負者	代理人
特性	試料	間	大きさ	隔	現場	は
測定方法	試料	間	大きさ	隔	測定	者
作業機械名	試料	間	大きさ	隔	測定	者
X						
Rs						
Rm						
組の番号						
記						

塗 装 膜 厚 測 定 管 理 表

現場代理人又は主任技術者

印

工事名		工種名			現場代理人						
					監理技術者						
ロット番号		請負者			主任技術者						
					施工管理担当者						
塗装系	基準膜厚合計値					μ					
測定時点	○ 工事塗装終了後		○ 現場塗装開始前		○ 現場塗装終了後						
測定月日				測定者							
測定位置											
	1	2	3	4	5	計	平均 \bar{X}_i	$\bar{X} - \bar{X}_i$	$(X - X_i)^2$	-	
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19										
	20										
	21										
	22										
	23										
	24										
	25										
合計											
	平均値 $\bar{X} =$						標準偏差 S =				

平均値	$\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i$	
標準偏差	$S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X} - X_i)^2} =$	

塗 装 膜 厚 測 定 成 績 表

現場代理人又は主任技術者

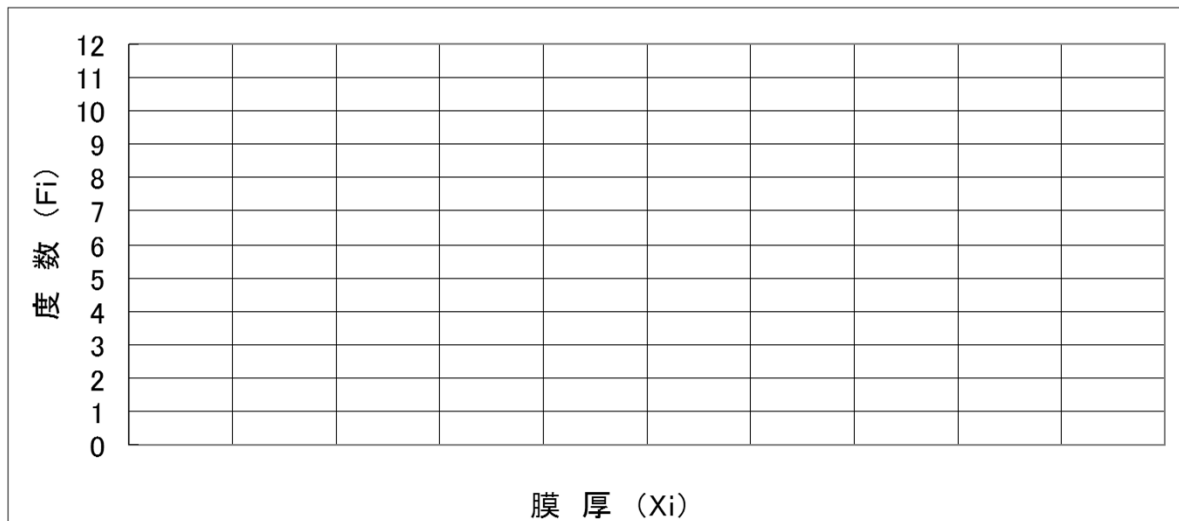
印

ロット番号		現場代理人	
		監理技術者	
		主任技術者	
		施工管理担当者	
測定時点		目標塗装膜厚	μ m

平均値Xおよび標準偏差S $\text{平均値 } \bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i =$ $\text{標準偏差 } S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X} - X_i)^2} =$	判定 標準偏差S= 標準偏差×0.2= 平均値 \bar{X} = 標準偏差×0.9= 5点平均値の最小値 = 標準偏差×0.7=
---	---

度数分布			
膜厚Xiのクラス	中央値	チェック	度数Fi

ヒストグラム



アスファルト混合物の敷き均し時の温度測定

工事名 _____

現場代理人又は主任技術者 _____ 印

工種名 _____

測定者 _____ 印

測定月日	気温℃	敷き均し時		温度管理図℃							摘 要		
		測 点	温度℃	110	120	130	140	150	160	170		180	

コンクリート中の塩分測定表

工事名 _____

現場代理人又は主任技術者 _____ 印

現場代理人 又は主任技 術者

測定者名				測定番号	測定値	塩化物量
立会者名						
測定年月日		時刻				
工種				1		
コンクリートの種類				2		
コンクリートの製造会社名				3		
混和剤の種類		m ³ 当 り 使用量		計		
セメントの種類				平均値		
単位水量	kg/m ³			許 容	kg/m ³	
測定器名						塩化物量
備 考	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 測定結果に対する措置を講じた事項等を記入すること </div>					

(注) 塩分濃度を (%) で測定した場合は、次式で塩分量を求めること。
 塩分量 (kg/m³) = (単位水量 (kg/m³)) × 測定値) ÷ 100

平成 年 月 日

品質証明書

工事名 : _____

品質証明書				
品質証明事項	実施日	箇所	品質証明員氏名	印

社内検査した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

受注者 住所

氏名

印

※県産品を使用した資材等については、記事の欄に「県産品使用」と記入すること
 県産品を使用した資材等とは、県内で産出され、生産され、製造され、又は加工された資材等である。

施 工 体 制 台 帳

[会 社 名] _____

[事 業 所 名] _____

建設業の許可	許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日
		知事 一般	第 号	平成 年 月 日
工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日	
	知事 一般	第 号	平成 年 月 日	

工事名称及び工事内容			
発注者名及び住所	〒		
工期	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日	契約日	平成 年 月 日

契約営業所	区分	名 称	住 所
	元請契約		
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外	加入 未加入 適用除外		
	事業所 整理記号 等	区 分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の監督員名	権限及び意見 申出方法
----------	----------------

監督員名	権限及び意見 申出方法
------	----------------

現場代理人名	権限及び意見 申出方法
--------	----------------

監理技術者名	専任 非専任		資格内容
--------	-----------	--	------

専門技術者名		専門技術者名
資格内容		資格内容
担当工事内容		担当工事内容

外国人建設就労者の 従事状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の 従事状況(有無)	有 無
-----------------------	-----	-----------------------	-----

- (記入要領)
- 1 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
 - 2 監理技術者の配置状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
 - 3 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
 - 4 外国人技能実習生が当該建設工事に従事する場合は「有」従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
 - 5 外国人建設就労者が、建設工事に従事する場合は「有」従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。

<<下請負人に関する事項>>

会社名		代表者名	
住所 電話番号	〒 (TEL - -)		
工事名称 及び 工事内容			
工期	自平成 年 月 日 至平成 年 月 日	契約日	平成 年 月 日
		請負代金額	

建設業 の許可	許可業種	許可番号		許可(更新)年月日
	工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日
		知事 一般	第 号	平成 年 月 日
	工事業	大臣 特定	第 号	平成 年 月 日
知事 一般		第 号	平成 年 月 日	

健康保険 等の加入 状況	保険加入の 有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入 未加入	加入 未加入	加入 未加入	加入 未加入	加入 未加入	加入 未加入
	事業所 整理記号等	適用除外		適用除外		適用除外	
		営業所の名称		健康保険	厚生年金保険	雇用保険	

現場代理人名	
権限及び 意見申出方法	
※主任技術者名	専任 非専任
資格内容	

安全衛生責任者名	
安全衛生推進者名	
雇用管理責任者名	
※専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

外国人建設就労者の 従事の状況(有無)	有 無	外国人技能実習生の 従事の状況(有無)	有 無
------------------------	-----	------------------------	-----

- 主任技術者の配置状況について[専任・非専任]のいずれかに○印を付すること。
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工の場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。

- 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入する)
 - 経験年数による場合
 - 1) 大学卒[指定学科] 3年以上の実務経験
 - 2) 高校卒[指定学科] 5年以上の実務経験
 - 3) その他 10年以上の実務経験
 - 資格等による場合
 - 1) 建設業法「技術検定」
 - 2) 建設業法「建築士試験」
 - 3) 技術士法「技術士試験」
 - 4) 電気工事士法「電気工事士試験」
 - 5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」
 - 6) 消防法「消防設備士試験」
 - 7) 職業能力開発促進法「技能検定」

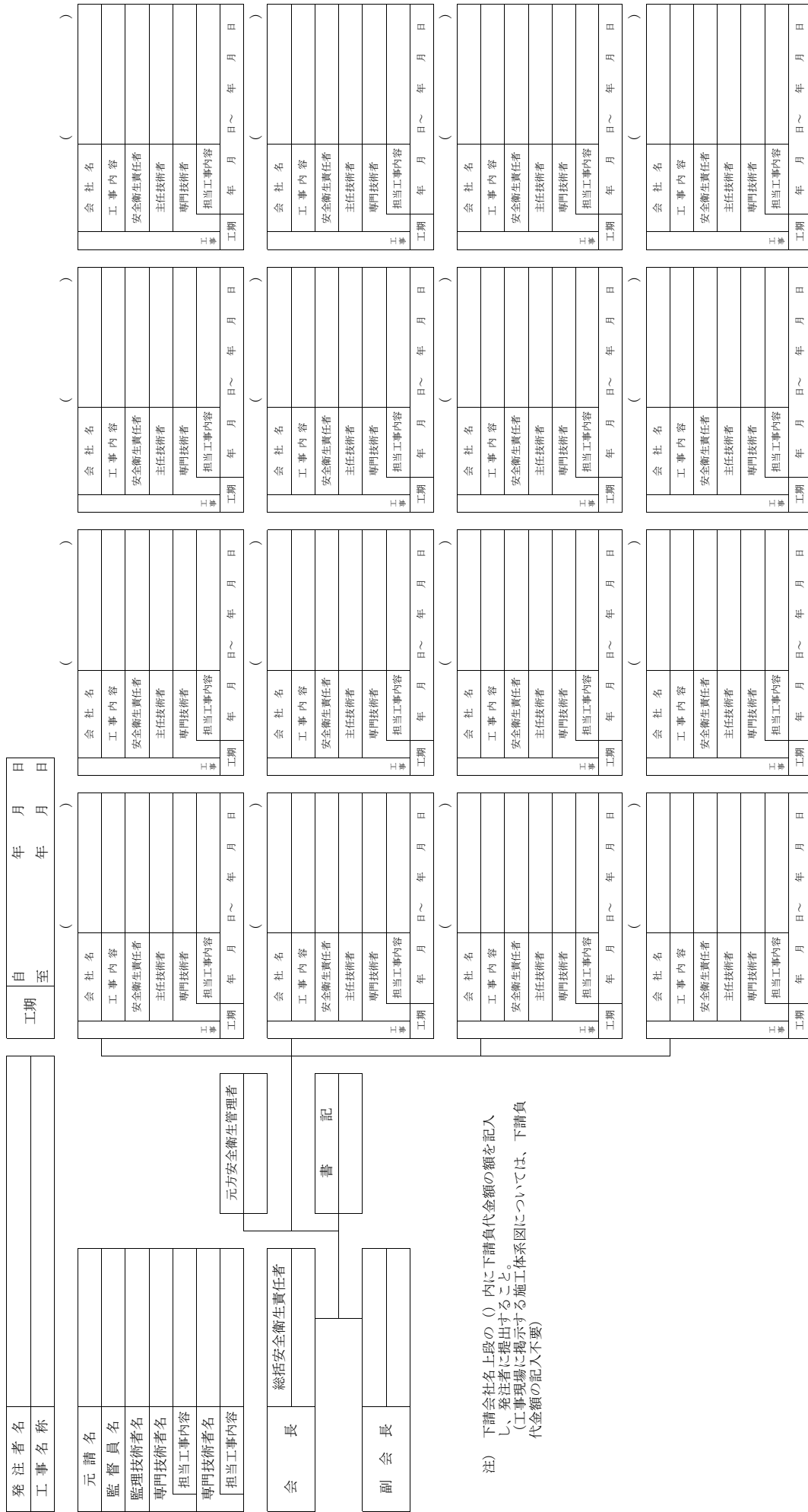
(健康保険等の加入状況の記入要領)

- 各保険の適用を受ける営業所について、届出を行っている場合には「加入」、行っていない場合(適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む)は「未加入」、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲む。
- 元請契約欄には元請契約に係る営業所について、下請契約欄には下請契約に係る営業所について記載する。なお、元請契約に係る営業所と下請契約に係る営業所が同一の場合には、下請契約の欄に「同上」と記載する。
下請負人の営業所の名称の欄には、請負契約に係る営業所について記載する。
- 健康保険の欄には、事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組合にあつては組合名)を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
- 厚生年金保険の欄には、事業所整理記号及び事業所番号を記載する。一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を記載する。
- 雇用保険の欄には、労働保険番号を記載する。継続事業の一括の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号を記載する。

(外国人建設就労者の従事の状況の記入要領)

- 外国人技能実習生が当該建設工事に従事する場合は「有」従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
- 外国人建設就労者が、建設工事に従事する場合は「有」従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。

施工体系図



注) 下請会社名上段の()内に下請負代金額の額を記入し、発注者に提出すること。
 (工事現場に掲示する施工体系図については、下請負代金額の記入不要)

平成 年 月 日

様

受注者又は
現場代理人

印

現場発生品調書

平成 年 月 日 契約の (○)○○川 ○○工事 における下記の発生品を引き渡します。

記

品名	規格	単位	数量	摘要
連節ブロック	凸型 60*30*15	個	52	

再生資源利用計画書(実施書) - 建設資材搬入工事用 - 「建設リサイクルガイドライン」様式 -

1. 工事概要

発注者情報欄: 発注者名, 住所, TEL, FAX, 発注担当者, 担当者, TEL, FAX

請負会社情報欄: 請負会社名, 住所, TEL, FAX, 請負会社コード, 大屋知事, 工事責任者, 調査票記入者

表面: 記入年月日, 年, 月, 日

工事概要欄: 工事名, 都道府県, 市区町村, 工事種別, 請負金額, 工期, 発注条件

建築面積欄: 建築面積, 延床面積, 階数, 階, 地下, 地下階

注: コード*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

2. 建設資材利用計画(実施)

建設資材(新材を含む) 再生資材の供給元 再生資材の供給元施設、工事等の名称 再生資材の名称 再生資材利用量(B) 再生資源利用率

建設資材供給元利用状況説明欄: コード*5, *6, *7, *8, *9 に関する詳細説明と注釈

裏面にも御記入ください

再生資源利用促進計画(実施書) 一建設副産物搬出工事用一

裏面

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「内陸処分場」を選択した場合のみ記入)
山口砂利採取区域 2. 処分場の区分 3. 処分場の区分 4. 谷地埋立 5. 塵埃投入 6. その他

建設副産物の種類 の性状	現場内利用		現場外搬出について		搬出先場所 の名称 ※4ヶ所以上に わたる場合は、用紙を複数枚下さい。	施工条件の 内容 ※12	搬出先 の種別 ※13	搬出先 の距離 ※14	再生資源 利用促進率 (%)
	①発生量 (細割等) =②+③+④	③利用量 うち現場内 改良分	④減量化量	⑤現場外搬出量					
特定建設資材	コンクリート塊	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
廃棄物	建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	アスファルト、 コンクリート塊	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	建設発生木材 (浮木材、除根 材など)	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
建設副産物	建設汚泥	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	建設副産物	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	建設副産物	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
廃棄物	雑草	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	アクリル (飛散)	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
	その他の分別さ れた廃棄物	ト		ト	公共民間		公共民間	km	
建設発生土	第一種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	公共民間		公共民間	km	
	第二種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	公共民間		公共民間	km	
	第三種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	公共民間		公共民間	km	
	第四種 建設発生土	地山m ³		地山m ³	公共民間		公共民間	km	
合計		地山m ³		地山m ³	公共民間		公共民間	km	

コード*10
1. 盛土材
2. 重圧材
3. 埋戻し材
4. その他(具体的に記入)

コード*11
1. 焼却
2. 脱水
3. 天日乾燥
4. その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1. A指定処分
(※注時に指定されたもの)
2. B指定処分(もしくは準指定処分)
(※注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3. 自由処分

コード*13(詳細は「裏-4. 現場の」と)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1. 他工事現場(内陸・公共・民間を含む)
2. 再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3. 有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4. 建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5. 埋立立事業(海岸、湖沼事業含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6. 最終処分場(海面処分場)
7. 最終処分場(内陸処分場)
8. 建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9. 焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10. その他(具体的に記入)

注: 再生資源利用促進率について
現場外搬出量(④)のうち、搬出先の種別
(コード*13)が「1~5」の合計

確認 ・ 立会願

現場代理人又は主任技術者

印

確認 ・ 立会事項

工事名 (二) ○○川 河川改修工事

平成 年 月 日

下記の 確認 ・ 立会 を願いたい

記

工 種	護岸工 捨石張り工	
場 所	松山市○○町××大字△△	
資 料		
希 望 日 時	月 日	時

確 認 立 会 員		
実 施 日 時	月 日	時
記 事		

段階確認書 施工予定表

平成 年 月 日

共通仕様書 に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告いたします。

工事名 (二) ○○川 河川改修工事

受注者又は
現場代理人： 印

種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事
場所打杭工	ホルケ-シク [®] 杭	掘削完了	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日	
指定仮設工		設置完了	平成 年 月 日～ 平成 年 月 日	

平成 年 月 日

通 知 書

下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知する。
監督員： _____

確認種別	確認細別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等
場所打杭工	ホルケ-シク [®] 杭	掘削完了	平成 年 月 日	
指定仮設工		設置完了	平成 年 月 日	

平成 年 月 日

確 認 書

上記種別について、段階確認を実施し確認した。

監督員： _____ 印

工 事 履 行 報 告 書

工事名	(二) ○○川 河川改修工事		
工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日		
日付	平成 年 月 日 (月分)		
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	備 考
6月	5.00	5.00	
7月	20.00	25.00	
8月	(40.00) 45.00	38.00	
(記事欄)			

現場代理人又は主任技術者

印

安全訓練に関する実施計画書

事務所名	路線河川名
工事名	契約工期
施工箇所	
工事概要	
請負工事費	氏名 円 請負業者 印
安 全 訓 練 の 計 画	
実施時期	実 施 内 容
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	
月	

- ※ 施工計画書に添付する場合は、「実施時期」の欄以下とすること。
- ※ 研修を行う諸規定・法令の関係項目を具体的に記載すること。

平成 年 月 日

様

住所

氏名

工事事故報告書

事故等の発生日時		天候	
事故の種類		(工事関係事故 ・ 公衆災害)	
工事概要	工事名		
	施工場所		
	受注者名	元請業者 下請業者	
	請負金額		
	工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
負傷者		所属(元請・下請) ※労働災害の場合	
		氏名・年齢	
負傷の程度			
事故発生時の施工体制		監理技術者又は 主任技術者	
		現場代理人	
事故当日の作業内容と 事故発生状況			

※ 事故発生後速やかに、事故の内容がわかる図面・写真等を添付して様式を提出してください。

※ 事故に関する情報が不完全な状態でも、把握できている状況を報告してください。

〔 労働基準監督署の是正勧告書、指導票等が交付された段階で、速やかにその写しを監督員へ提出してください。〕
〔 労働基準監督署への是正報告が受理されたときは、速やかにその写しを監督員へ提出してください。〕

※ 工事関係事故には、工事関係者に死傷者等は発生していないが、建設機械が転倒する等の事故を含みます。

※ 公衆災害には、第三者が原因となり工事関係者に死傷者が生じたいわゆる「もらい事故」も含みます。

交 通 整 理 員 勤 務 実 績 表

事務所名		監督員			
工事種別		工事名			
路線河川名		施工箇所			
工事概要					
工事日数	日	契約工期			
請負工事費	円	受注者又は 現場代理人	印		
交通整理員実績表					
月 日	勤務時間	配置人員	交替要員	延勤務時間	備 考
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	
/	: ~ :	人	有・無	h	

(注意事項) 受注者は上記実績表に必要事項を記入し、実施状況写真と併せて監督員に提出すること。

木材利用(計画・実績)書

作成年月日：平成 年 月 日

工事番号・工事名

受注者名

現場代理人名

印

種別(用途)	品名(樹種・製品名等)	規格	数量	材積(m3)	産地	施業分類	備考

産地証明書

平成 年 月 日

1. 樹 種
2. 施業分類
3. 産 地
4. 品名・規格
及び納品数
5. 工事番号
及び工事名
6. 工事場所

請負業者 御中

上記のとおり証明いたします。

出荷元住所
名 称

(印)

材 料 確 認 願

平成 年 月 日

様

現場代理人又は主任技術者

印

工事名 (二) ○○川 河川改修工事

標記工事について、下記の材料確認を実施されたい。

記

材料名	品質規格	単位	設計数量	搬入数量	確 認 欄				備 考
					確認年月日	確認方法	合格数量	確認印	
塗料	エポキシ樹脂	缶	6	6	H . . .				
〃	〃 黒	缶	6	6	H . . .				
〃	〃 青	缶	6	6	H . . .				
プライマー		缶	6	6	H . . .				

現 場 安 全 日 誌			
年 月 日	平成 年 月 日	天候	
点 検 者 氏 名			
始 業 前 点 検 時 間			
終 了 後 点 検 時 間			
作 業 位 置			
作 業 内 容			
点 検 事 項	状 況		
1 亀 裂			
2 崩 壊			
3 落 石			
4 湧 水			
5 地 下 水 位			
6 構 造 物 の 変 動			
7 そ の 他			
備 考			

工 事 打 合 簿

発議者	<input checked="" type="checkbox"/> 請負者	発議年月日	平成 年 月 日
発議事項	<input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他()		
工事名	(二) ○○川 河川改修工事		
(内容)			
<p>共通仕様書第1編1-1-1-4の規定に基づき施工計画書を提出します。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>			
添付図 葉、その他添付図書			
処 理 ・ 回 答	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示・ <input type="checkbox"/> 承諾・ <input type="checkbox"/> 協議・ <input type="checkbox"/> 通知・ <input type="checkbox"/> 受理 します。 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	受注者	平成 年 月 日	

受注者又は現場代理人 印

産業廃棄物処理計画書 (表附書)

平成 年 月 日作成

1. 工事概要

工事番号、工事名称	工事場所	工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日
発注者名	設計者名	作業所	廃棄物処理業者
工事概要	工事契約業者名	工事施工業者名	
基礎工事等の工法	基礎工事等契約業者名	基礎工事等施工業者名	

2. 処理計画(1).....発生と処理

産業廃棄物の種類	発生量 (t)	現場内利用		現場内保管の有無	搬出量 (t)	搬出時期	再生利用		中間処理量 (t)	最終処分量 (t)	最終処分方法	再生利用個別指定の申請等手法の有無	処理形態の別
		利用量 (t)	利用用途				再生利用量 (t)	利用用途					
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託
				有・無								有・無	自己・委託

3. 処理計画(2).....処理形態が委託の場合に記入

業者名	都道府県 政庁名・許可番号	発生地	搬運		業者	積換	保管業者		処分業者(中間処理または最終処分)	処分施設の現地確認方法	
			発生	運搬			先	業			者
		取扱う建設廃棄物の種類	都道府県 政庁名・許可番号	取扱う建設廃棄物の種類	都道府県 政庁名・許可番号	業者名	許可期限	取扱う建設廃棄物の種類	都道府県 政庁名・許可番号	許可期限	処分施設の現地確認方法

上記については、下記項目を参照し記入すること。

産業廃棄物の種類	中間処理方法	最終処分方法	処分施設の現地確認方法	その他特記事項
①がれき類(コンクリート殻)	①脱水	①埋め立て(安定型)	①現地確認写真	
②がれき類(アスファルトコンクリート殻)	②乾燥	②埋め立て(管理型)	②その他	
③がれき類(その他)	③焼却	③埋め立て(遮断型)		
④ガラスくず、陶磁器くず	④破碎	④その他		
⑤廃プラスチック類	⑤選別			
⑥金属くず	⑥その他			
⑦混合廃棄物(安定のみ)				
⑧建設汚泥				
⑨紙くず				
⑩木くず				
⑪繊維くず				
⑫廃石膏ボード				
⑬混合廃棄物(管理含む)				
⑭その他の産業廃棄物				

現場作業員名簿

工 事 名

受 注 者 名

現場代理人

主任(監理)

技 術 者

所属建設会社名	氏 名	年 齢	備 考
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	
		歳	

※1 本工事において作業する作業員を全て記載のこと

※2 下請会社の主任技術者については、備考欄に「主任技術者」と記載のこと

発注者 様

住 所
会社名

印

雇 用 証 明 書

下記の作業員が自社又は下請負人に雇用されていることを証明します。

記

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

氏 名 _____
所属会社名 _____

木製工事用バリケード設置計画（実績）表

1 事務所名		2 工事番号	
3 工事名		4 路線河川名	
5 施工箇所			
6 工事概要			
7 契約工期			
8 請負工事費	円	9 受注者又は現場代理人	氏名 印
10木製バリケード使用計画（実績）表			
設置期間	設置月数	設置基数	延べ月数
H . . . ~ H . . .	ヶ月	基	基月
			(記入例) No. ○○付近工事車両出入口付近
計	ヶ月	基	基月
(上記のうち、純設置基数及び間伐材使用量)		基	※バリケード1基あたり間伐材使用は0.02m3
		m3	

(注意事項) 1 受注者は上記調査表に必要事項を記入し、氏名捺印のうえ、監督員に提出すること。
なお、工事完了時には、設置状況が確認できる資料と併せて監督員に提出すること。

平成 年 月 日

（発注者） 殿

受注者 住所
氏名 印

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況について

年 月 日契約を締結した下記の工事について実施状況を報告します。

工事名	
工事箇所	
工期	
請負代金額	
実施状況	(工事特性) (創意工夫) (社会性等)

注) 不要の文字は抹消すること。